

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月臨時会）会議録
開催日時	平成31年2月21日（木）午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	保谷庁舎別棟 C会議室
出席者	委員：服部議長、攝賀副議長、川原委員、沼本委員、原委員、 原田委員、矢野（真）委員 事務局：青木主事
議題	(1) 社会教育行政のあり方について (2) 西東京市生涯学習推進指針について (3) その他
配付資料	資料1 (草稿)今後の社会教育行政の運営体制について（提言） 資料2 西東京市生涯学習推進指針（改訂案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成31年2月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 社会教育行政のあり方について</p> <p>○議長：前回の会議での内容を踏まえて、起草委員会にて再度議論をし、草稿の作成を進めてきた。 本日配付の資料1について一度目を通していただき、意見ををお願いしたい。 まず「はじめに」の部分に関して意見はあるか。</p> <p>○委員：「社会教育の定義」については、「法的定義ではない、読み手の理解が得られるような表現ができないか」という意見があった。そのため、『改訂 新社会教育』を参考に文言の修正を行った。 また、社会教育に係る地域の重要性については、前回の会議での意見を踏まえ、社会教育を実践する場として、地域が重要であるということについて加筆した。 そして、社会教育に係る取り組みについては、前回の草稿では、文末を「社会教育行政担当部局以外でも広く行われてきた取り組みであったためである。」としていたが、社会教育について、すでに社会教育課以外の課でも取り組んでいるため問題ないと認識されてしまうのではないかと意見もあった。 そのため、「首長部局と一緒に社会教育に係る全庁的な取り組みを整理、再評価し、西東京市における社会教育の充実を推し進めていくことが必要である」と考えた。」とした。</p>	

- 議長：「社会教育は」から始まる段落については、学校教育以外の教育活動であるという意味合いを含めた方が良いのではないかと。
- 委員：成人になって大学に再入学するのは、学校教育になるのか。
- 委員：学校教育と社会教育、どちらの意味も含まれると思うが、社会教育の中の成人教育としての意味合いが強いのと思う。
また、自己教育については、あらゆる人々が取り組む学習活動と繋がってくると思うが、文化の継承という意味でも学ぶこと自体に意味があると思う。
- 議長：「1 今後の社会教育行政に求められるもの」について、何か意見はあるか。
- 委員：第二の「社会の変化」については、都政新報でも「不登校と貧困」についての記事があり、家庭環境の変化と絡めて「相対的貧困」というキーワードとともに提言へ盛り込みたいと考える。
- 委員：「相対的貧困」については、「貧困の連鎖」という文言と絡めて提言に盛り込んだら良いのではないかと。
- 委員：「教育を受けることなど他と比較し満たすべき基準を達成できていない場合の貧困」とあるが、もう少し読み手がわかりやすい表現が良いと思う。
- 委員：第三の「グローバル化・ICT」については、パソコン等の情報通信技術の活用度から生じる格差（デジタル・デバイド）について、触れておくべきであると思う。
- 委員：特に高齢者はICTの進展から取り残されることにより、社会参加の機会を失っているのではないかと。こうした問題を解決するためにも、社会教育の果たす役割は大きいと思う。
- 委員：ICTの進展など、社会変化のスピードについていけない人に対して、社会教育がサポートしていくことが重要であると思う。
- 委員：第四の「教育・福祉」については、「公助だけでなく、共助・自助」の表現が最適かどうか、検討する必要があると思う。
- 副議長：前回の会議の意見を踏まえると、「その中で自発的に学習計画を立てることができない人をどのように地域に取り込み、学習機会を持つことができるようにするかが行政課題なのではないか。」とあったことから、公助・共助の重要性について、きちんと触れておくべきであると思う。

- 議長：「2 今後の施策の方向」の部分に関して何か意見はあるか。
- 副議長：「新たな地域コミュニティ」については、学んだことを地域に還元できる仕組みづくりや、人的・物的情報を一元管理する機能としての生涯学習センターの設置を含め、どのように地域を巻き込み、活性化させるかが重要であると考えている。
- 委員：社会教育に係る情報を一元管理する「機能としての生涯学習センター」の設置は必要であると思う。
- 委員：「地域学校協働活動の種類は」の部分は、「地域学校協働活動の主体は」の方が適していると思う。内容も含め、検討が必要である。
- 副議長：行政が企業に対して、CSR活動を強く求めていくことも必要なのではないか。
- 委員：労働の中心となっている現役世代を巻き込むことを考えると、CSR活動は必要であると思う。
ただ、行政に全てを任せるということではなく、行政が地域の目指すべきビジョンを示し、意欲のある市民と連携を取りながら地域を盛り上げていく形が良いのではないかと考える。
- 議長：「健康長寿社会への寄与」については、高齢者の社会参加の促進が重要になってくると思うが、その社会参加をサポートするような仕組みが必要であると考えている。
- 委員：前回の提言内容の実現状況も踏まえると、今回の提言は前回の提言内容の更新だけで良いのだろうか。社会教育行政を取り巻く社会の変化等を考えると、現状の組織自体を見直すということも必要であると考えている。
- 委員：組織の改編ありきではなく、「今後の施策の方向」の内容について具体的に意見をまとめる中で、施策の実現に必要な組織のあり方を示すことが重要なのではないか。
- 副議長：本日の議論を踏まえて、起草委員会で検討し、提言のまとめに向けて進めていきたい。

(2) 西東京市生涯学習推進指針について

- 事務局：西東京市生涯学習推進指針（改訂案）に沿って説明。
前回の会議での皆さまの意見を踏まえて、以下のように情報の更新及び文言の修正を行った。
「(1) 少子高齢化の進展」の「少子高齢化」の部分では、高齢化のみ触れら

れているとの意見があったため、年少人口の推移を参考に少子化についての記述を加えた。

また、「人生100年時代」についても、「人生100年時代」自体の解説も含め修正している。

また、「(3) 生涯学習に関する市民の意識」の《課題》にある「学習者自身がこれまでの社会的サービスの受益者から提供者ともなり」については、最適な文言がないか検討している。

そして、「参考 個別計画の例」については、前回会議の意見を踏まえて、推進事業が該当していた個別計画についてまとめることを検討している。

○事務局：何か意見や質問等があれば、社会教育課までお寄せいただきたい。

(3) その他

※年度内の会議スケジュールについて

- ・ 3月29日（金）午後3時から
保谷庁舎 1階会議室にて開催。

※来年度の会議スケジュールについて

- ・ 原則、第4月曜日に開催予定。

※次回会議 3月29日（金）午後3時
保谷庁舎1階 会議室